

5 就学前教育

2021年度（令和3年度）主要施策

《質の高い就学前教育の推進》

1 教育・保育の質の向上

(1) 生活や学びの基礎をつくる教育・保育内容の充実

① 研究指定園事業

毎年1園を2年間の研究園として指定し、2年目の公開研究会を市立幼稚園全職員の研修の場とする。保育公開・研究発表・講師を招へいしての講演等により、保育の環境構成や援助の在り方等について学び、保育の質の向上を図る。

② 保幼小連携

2012年（平成24年）から2018年（平成30年）まで7年間にわたり福山市立大学と連携し、市内の幼稚園・保育所等の職員及び小学校の教員が参加する保幼小合同研究会を実施し、子どもの実態や教育・保育内容、指導内容についての相互理解や連携の推進を図ってきた。校区で互いの顔の見える交流ができてきたことから、2019年度（令和元年度）からは、校区ごとに幼稚園・保育所等の就学前施設と小学校の円滑な接続を図っている。2021年度（令和3年度）は、保幼小連携教育合同研修会を行い、子どもの育ちと学びを連続させていくための接続期カリキュラムに基づく連携を推進していく予定である。

③ 福山市教育・保育カリキュラム

「福山市教育・保育カリキュラム」を基に実践し、子ども主体の学びや育ちを保障し、保育の専門性を高めるための交流や研修を行う。

カリキュラムの実践にあたっては、広島県教育委員会の「『遊び 学び 育つひろしまっ子！』推進プラン～広島県の全ての乳幼児の健やかな成長のために～」とのつながりをもたせた取組としていく。

(2) 認定こども園の整備

園舎整備とともに教育・保育内容や運営体制など必要な事項を行い、大学附属こども園を、2018年（平成31年）4月に、伊勢丘こども園を、2020年（令和2年）4月に開園した。

研究園としての位置づけである大学附属こども園は、公開研究会を行い、保幼の融合した保育内容の充実を図る。実践拠点園である伊勢丘こども園は、この実践を基に、地域の実態に合わせた教育・保育の実践をしていく。